

令和2年度 山形県地域年金展開事業 取組結果報告書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

山形年金事務所
(山形県代表年金事務所)

目 次

1	地域連携事業	2 頁
2	年金セミナー事業	7 頁
3	地域相談事業	10 頁
4	年金委員活動支援事業	14 頁
5	「ねんきん月間」・「年金の日」の取組	18 頁
6	「わたしと年金」エッセイ	19 頁
7	第12回山形県年金ポスターコンクール	19 頁
8	山形県地域年金事業運営調整会議	20 頁
9	ねんきんネットの利用促進	24 頁

1 地域連携事業

(1) 年金制度説明会の開催及び研修会等への講師派遣状況

年金制度の周知を図るため、年金制度説明会の開催や各種機関・団体、企業が主催する研修会等に講師を派遣しました。

事務所	企業・その他		自治体・公的機関等		社会保険労務士会		社会保険協会		年金協会連合会		合計		年間計画
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
山形	2回	27名	0回	0名	0回	0名	2回	94名	(1回)	(45名)	4回	121名	15回
鶴岡	0回	0名	0回	0名	0回	0名	3回	145名	(2回)	(75名)	3回	145名	10回
米沢	1回	10名	0回	0名	1回	18名	3回	116名	(1回)	(20名)	5回	144名	12回
新庄	0回	0名	0回	0名	0回	0名	1回	20名	(0回)	(0名)	1回	20名	6回
寒河江	0回	0名	1回	2名	0回	0名	3回	55名	(2回)	(36名)	4回	57名	7回
令和2年度末 合計	3回	37名	1回	2名	1回	18名	12回	430名	(6回)	(176名)	17回	487名	50回
(参考)令和元 年度末 合計	26回	1,361名	7回	139名	2回	70名	14回	860名	(9回)	(483名)	49回	2,430名	50回

年金協会連合会の()については、社会保険協会と共催で開催している年金説明会について、再掲数として掲載しております。

(2) 市町村担当者との打合せ等状況

年金事業の円滑な運営・推進のためには市町村との連携が不可欠であることから、各年金事務所において、管轄市町村の担当職員との打合せや研修会を行いました。また、制度周知・啓発のため、市町村担当者向け情報誌「かけはし」の提供を初め、ねんきん月間にかかるポスターやリーフレットの設置について協力を依頼するなど連携し取り組みました。

市町村担当者向け情報誌「かけはし」とは、2カ月に1回発行の定期的情報誌です。内容は、障害年金講座や各種申請書類の受付事務にかかる留意点等を掲載したもので、充実した内容になっています。

事務所	管内市町村		県全体		連携 (かけはし、 ポスター・ リーフレットの 送付等)	合計		年間 計画
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	回数	参加者数	回数
山 形	3回	17名	0回	0名	8回	11回	17名	10回
鶴 岡	1回	8名	0回	0名	8回	9回	8名	10回
米 沢	1回	8名	0回	0名	8回	9回	8名	10回
新 庄	2回	23名	0回	0名	8回	10回	23名	10回
寒河江	2回	14名	0回	0名	9回	11回	14名	10回
令和2年度末 合計	9回	70名	0回	0名	41回	50回	70名	50回
(参考) 令和元年度末 合計	9回	78名	1回	30名	31回	41回	108名	50回

(3) 関係機関・関係団体との打合せ等状況

年金制度の周知・啓発事業を推進するために必要な取組みとして、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、各関係団体の了解をいただきながら打合せ等を実施しました。主な取組みは次のとおりです。

山形県社会保険協会と連絡協議会を開催し、年金制度研修会等への講師派遣や広報誌「社会保険やまがた」に記事を提供するなど連携を図りました。

山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行いました。

全国健康保険協会山形支部と連絡会議を開催し、年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催や年金委員・健康保険委員の委嘱拡大勧奨等の取組みについて連携を図りました。

各地区社会保険委員会役員会への出席、日帰り温泉施設や各地区公民館に「ねんきんネット」普及促進のチラシの設置等協力を依頼しました。

事務所	社会保険協会	年金協会連合会	社会保険労務士会	協会けんぽ	運営調整会議	官公署	その他 (上記の内容)	合計	年間計画
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
山形	5回	1回	13回	5回	1回	3回	3回	31回	40回
鶴岡	0回	0回	0回	0回	0回	2回	1回	3回	20回
米沢	0回	0回	1回	0回	0回	0回	7回	8回	8回
新庄	0回	0回	0回	0回	0回	1回	0回	1回	8回
寒河江	0回	0回	0回	0回	0回	2回	0回	2回	8回
令和2年度末 合計	5回	1回	14回	5回	1回	8回	11回	45回	84回
(参考)令和元年度末 合計	24回	9回	15回	9回	2回	16回	44回	119回	84回

(4) 地域型年金委員との連絡会等の開催状況

地域住民に対して、公的年金制度の重要性を説明し、啓発を行うとともに、年金に関する相談や助言を行っていただいている地域型年金委員との連絡会の開催を、情報の共有や委員相互の交流を図るために、年25回の計画を立てたものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年金委員の皆様を参集することはできませんでしたが、資料等の提供を行いました。

事務所	連絡会		研 修		合 計		年間計画
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数
山 形	0回	0名	0回	0名	0回	0名	5回
鶴 岡	0回	0名	0回	0名	0回	0名	5回
米 沢	0回	0名	0回	0名	0回	0名	5回
新 庄	0回	0名	0回	0名	0回	0名	5回
寒河江	0回	0名	0回	0名	0回	0名	5回
令和2年度末 合計	0回	0名	0回	0名	0回	0名	25回
(参考)令和元年度末 合計	14回	81名	6回	39名	20回	120名	26回

(5) 報道機関との連携状況

山形県政記者クラブを通して、各報道機関に対し、6月に、令和2年度「わたしと年金」エッセイ募集、10月には、令和2年度「ねんきん月間」・「年金の日」の取組み及び第12回山形県年金ポスターコンクール審査結果、11月には、令和2年度年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式の開催について、周知を行いました。

(6) 地域連携事業の取組結果

取組結果

地域年金展開事業の目玉の一つでもある「地域連携事業」については、新型コロナウイルスが感染拡大の影響により、回数は減ったものの、各種機関・関係団体の協力のもと、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、実施することができました。

・年金制度説明会は、令和元年度実施回数49回、受講者数2430名に対し、令和2年度実施回数17回、受講者数487名、という結果でしたが、その中でも、山形県社会保険協会・山形県年金協会連合会主催の研修会は、新型コロナウイルス感染防止対策が徹底されており、例年どおり講師を派遣することができました。

・関係機関(団体)との打合せについては、コロナ禍での、最低限の面談での打合せでありましたが、山形県社会保険協会広報誌への記事提供や、山形県社会保険労務士会との年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整、全国健康保険協会山形支部と合同の「年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式」を開催することができました。

・地域型年金委員連絡会は、残念ながら開催することはできませんでしたが、地域住民に対しての、公的年金制度の重要性を広く啓発していくために、重要な取組みとして進めていきます。

2 年金セミナー事業

(1) 教育機関別年金セミナーのアプローチ状況

次世代の主役となる若年層から、年金制度の仕組みや必要性について理解を深めていただき、納付意識の向上や年金受給権の確保に結び付けるために、年金セミナー事業を推進してきました。令和2年度も、県教育委員会各部署(教育長)を訪問し事業の趣旨説明を行いご理解をいただきました。また、県内の高等学校・大学等107校に対して、年金セミナーの開催について文書で依頼しました。元学校長の方々に委嘱している地域年金推進員(令和2年度末現在、山形1名、米沢1名、新庄1名)と、各年金事務所担当者において、年金セミナーの実施に向けたアプローチを行ってきました。特に令和2年度は、年金セミナー用動画(DVD)を中学校(米沢4校、新庄1校)へも提供しました。

事務所	大学・短大		専門学校		高等学校		合計		
	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数	対象校数	勧奨数 (中学校別掲)	実施率
山形	8校	31回	15校	39回	20校	48回	43校	118回	274.4%
鶴岡	3校	4回	4校	2回	18校	7回	25校	13回	52.0%
米沢	4校	9回	2校	5回	16校	24回	22校	38回 (4回)	172.7%
新庄	—	—	3校	4回	8校	25回	12校	29回 (1回)	263.6%
寒河江	—	—	—	—	6校	10回	6校	10回	166.7%
令和2年度末 合計	15校	44回	24校	50回	68校	114回	107校	208 (5回)	194.4%
(参考)令和元 年度末合計	14校	10回	23校	24回	64校	112回	101校	146回	144.6%

令和2年度対象校数については、高等養護学校、高等専修学校等も含めた校数としております。

(2) 教育機関別の年金セミナー実施状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい中での取組みとなりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力をいただき、30校で実施することができました。これまでの取組みを基本に継続し取組んできた成果として表れました。引き続き、早い時期のアプローチから、早い時期の実施と、年間を通した取組みにより実施校を増やします。

「税務署とのコラボ開催」については、寒河江年金事務所にて定着化されていたところですが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、開催はできませんでした。寒河江年金事務所を始め、他事務所においても、コラボ開催を念頭に置き対応していきます。

事務所	大学・短大			専門学校			高等学校			合計			年間計画
	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	対象校数	実施校数	受講者数	回数
山形	8校	0校	0名	15校	6校	242名	20校	6校	913名	43校	12校	1,155名	13回
鶴岡	3校	0校	0名	4校	2校	24名	18校	3校	68名	25校	5校	92名	13回
米沢	4校	1校	121名	2校	1校	36名	16校	7校	449名	22校	9校	606名	14回
新庄	—	—	—	3校	0校	0名	8校	4校	231名	11校	4校	231名	7回
寒河江	—	—	—	—	—	—	6校	0校	0名	6校	0校	0名	3回
令和2年度末合計	15校	1校	121名	24校	9校	302名	68校	20校	1,661名	107校	30校	2,084名	50回
(参考)令和元年度末合計	14校	5校	1,196名	23校	9校	348名	64校	29校	2,920名	101校	43校	4,464名	50回

令和2年度対象校数については、高等養護学校、高等専修学校等も含めた校数としております。

(3) 年金セミナー事業の取組結果

取組結果

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面でのアプローチ、セミナーの開催が困難な状況となりましたが、回数は減少したものの、各学校のご理解をいただき、実施することができました。

これまでの継続したアプローチの取り組みが最も重要であり、その成果として表れています。

課題でありました、地域年金推進員の配置については、可能枠3名に対して3名配置されました。今後は、地域年金推進員の取組み強化を図り、実施回数に結び付けていきます。

例年、年間実施件数の86%以上が12月以降の実施となっているため、引き続き、次年度の実施を見据えたアプローチ内容として、年度前半での実施についても検討していただくよう要請していきます。また、未開催の高等学校については、粘り強くアプローチを継続していきます。

中学校での実施については、一部中学校に「年金セミナー用動画」を提供する等勧奨を行ってきましたが、実施できていません。引き続き、アプローチ方法から検討します。

3 地域相談事業

(1) 年金事務所以外での出張年金相談の実施状況

年金事務所に出向くことが難しいお客様の利便性向上を図るため、出張年金相談を実施しています。

年金相談の周知・広報については、「日本年金機構からのお知らせ」に記事を掲載するとともに、市町村広報誌においても記事掲載の協力を得て実施しています。

また、鶴岡年金事務所管内では、山形県社会保険労務士会へ「街角の年金相談センター酒田」における年金相談窓口の運営を委託しております。

事務所	年間計画	実施場所	実施計画日/回数	合計	相談者数
米 沢	4回	長井市役所	7月・10月・1月に各1回	3回	11名
	4回	小国町役場	8月・11月・2月に各1回	3回	13名
	4回	白鷹町役場	6月・12月・3月に各1回	3回	13名
新 庄	12回	尾花沢市役所	毎月 / 1回 (第3水曜日)	11回	51名
	12回	大石田町役場	毎月 / 1回 (第2木曜日)	10回	32名
令和2年度末 合計	36回			30回	120名
(参考)令和元年度末合計	51回			51回	284名

(2) ハローワークにおける説明会での年金制度説明会実施状況

県内ハローワークにおける離職者を対象とした説明会の中で、離職者に対する国民年金に関する手続きの周知を図り、国民年金保険料免除制度についての説明や相談を実施しましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ハローワーク米沢、ハローワーク新庄のみの実施となりました。

開催事務所・場所	年間計画	回数	参加人数
山形(ハローワーク山形)	24回	0回	0人
鶴岡(ハローワーク鶴岡・酒田)	110回	0回	0人
米沢(ハローワーク米沢)	55回	35回	882人
新庄(ハローワーク新庄)	26回	27回	363人
寒河江(ハローワーク寒河江・村山)	100回	0回	0人
令和2年度末合計	315回	62回	1,245人
(参考) 令和元年度末合計	315回	297回	10,452人

(3) その他の出張年金相談等の実施状況

行政監視行政相談センターの「合同行政相談所」における年金相談会の実施

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催されず、派遣することはできませんでした。

事務所	開催場所	開催日	相談者数	対象地区
山形	山形市役所	未開催	—	山形地区
新庄	最上広域交流センター ゆめりあ	未開催	—	新庄地区
寒河江	寒河江市ハートフル センター	未開催	—	寒河江地区 村山地区
合計（昨年度）		—（3回）	—（5名）	

商業施設等における出張年金相談会の実施

平成30年度、県内で初めて実施することができた大型商業施設を利用した年金相談会（11月の「ねんきん月間」及び11月30日「年金の日」の取組み）の継続した取組みとして、令和元年度は6月に前倒して実施してきたところですが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催できませんでした。

これまで、唯一の継続した「大型商業施設を利用した年金相談会」になりますので、広く、年金制度を啓発するために引き続き実施します。

令和元年度6月開催
イオンモール天童1階センターコートでの
年金相談の様子



令和元年度6月開催
イオンモール天童1階センターコートでの
チラシ配布の様子



イベント共催による年金説明会の実施

例年開催される、ハローワーク山形主催の『福祉のしごとフェア』及び、新庄地区人財育成推進・確保対策協議会主催の「きて・みて・きいて就職面談会」は、開催されませんでした。令和3年2月24日、山形市福祉事務所主催の生活困窮者や生活保護者を対象とした研修会は開催され、職員を派遣し、年金制度について説明しました。（会場：山形市市民活動支援センター、受講者：15名、研修テーマ：年金に関する基礎知識）

(4) 地域相談事業の取組結果

取組結果

- ・市町村での出張年金相談は、年間計画に基づき開催しております。引き続き、市町村と連携を図り、お客様のニーズを把握するとともに、予約枠を有効に活用し利便性を確保します。
- ・ハローワークにおける説明会での年金制度説明会については、2地区のみの実施となりましたが、引き続き、離職者に対する国民年金に関する手続きの周知を図るため、県内ハローワークの協力をいただき実施します。
- ・行政監視行政相談センターの合同行政相談所については、今年度の開催はありませんでしたが、引き続き積極的に対応します。
- ・商業施設等での出張年金相談会の開催については、今後も、開催の継続と会場の拡大を課題とし、県民が年金を身近に感じてもらう機会を増やすため、引き続き実施します。

4 年金委員活動支援事業

(1) 年金委員への情報提供

実施年月	対象年金委員	内 容
6月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
10月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
	職域型・地域型	・「ねんきん月間」取組み資料の送付
11月	地域型	・「日本年金機構アニュアルレポート2019」の送付（県内104名分）
1月、2月	職域型・地域型	・年金委員事務手続きの変更周知（押印省略）
2月、3月	地域型	・広報誌「支えあい～年金委員だより」の送付
3月	職域型(鶴岡)	・全国年金委員研修資料の送付

(2) 年金委員研修会の実施状況

例年、山形県内社会保険委員会及び各支部が主催する研修会に、積極的に講師として職員を派遣していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修会の開催が大幅に減少し、置賜地区社会保険協会米沢支部主催研修会のみ講師派遣となりました。

日本年金機構本部主催の、日本年金機構テレビ会議システムを利用した「令和2年度全国年金委員研修会」については、年金委員の方々から、全国各年金事務所にお集まりいただきました。全国で864名（職域型569名、地域型295名）、山形県内では11名（職域型8名、地域型3名）の参加をいただきました。

事務所	回 数	受講者数	支援回数	合計	年間計画
山 形	1回	8名	3回	4回	13回
鶴 岡	0回	0名	4回	4回	5回
米 沢	2回	47名	0回	2回	10回
新 庄	1回	1名	1回	2回	6回
寒河江	1回	1名	2回	3回	5回
令和2年度未合計	5回	57名	10回	15回	39回
(参考)令和元年度未合計	16回	670名	21回	37回	39回

(3) 年金委員委嘱拡大の取り組み

職域型年金委員については、全国健康保険協会山形支部と協力し新規適用事業所に対する依頼文書の送付を基本に取り組んできました。また、退職等により解嘱の連絡が入った際は、全て後任者の選出をお願いしました。

各年金事務所独自の取組みとして、鶴岡年金事務所では、2月に、年金委員を配置していない事業所100件に文書勧奨したところ、9件の推薦をいただきました。また、寒河江年金事務所でも、9月及び3月に、年金委員を配置していない事業所320件に対し文書勧奨したところ10件の推薦をいただきました。

地域型年金委員については、退職する職域型年金委員へ、地域型への移行のご案内を必須としてきました。拡大が厳しい状況ですが引き続き対応します。また、関係団体(山形県社会保険協会、山形県年金協会連合会、山形県社会保険労務士会)には、定例会議等の際に、引き続き推薦をいただきますよう依頼しました。

(4) 年金委員委嘱者数の推移

事務所	令和元年度末 (A)			令和2年度 (B)			増減 (B) - (A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
山 形	597	46	643	581	54	635	▲16	8	▲8
鶴 岡	403	14	417	400	15	415	▲3	1	▲2
米 沢	408	15	423	382	16	398	▲26	1	▲25
新 庄	137	7	144	133	7	140	▲4	0	▲4
寒河江	244	12	256	249	11	260	5	▲1	4
県内計	1,789	94	1,883	1,745	103	1,848	▲44	9	▲35
事業所数 (委嘱率)	19,384 (9.23%)	—		19,557 (8.92%)	—				

(5) 年金委員の功労者表彰伝達式の実施

全国健康保険協会山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に表彰状が伝達されました。

【開催日】 令和2年11月19日(木)

【開催場所】 山形グランドホテル

【受賞者】 厚生労働大臣表彰	1名
日本年金機構理事長表彰	4名
日本年金機構理事表彰	11名

健康保険委員からは厚生労働大臣表彰1名、全国健康保険協会理事長表彰5名、全国健康保険協会山形支部長表彰10名が受賞されました。



表彰受賞者記念撮影会の様子
写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。



表彰伝達式の様子(厚生労働大臣表彰)

(6) 年金委員活動支援事業の取組結果

取組結果

・職域型年金委員で組織されている社会保険委員会が主催する研修会等は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、研修会自体が開催されず、講師を派遣し支援することはできませんでしたが、引き続き、積極的に支援します。また、課題としていた年金事務所が主催する研修会についても、引き続き、全国健康保険協会山形支部と協力し実施していくことで、企業において、制度周知が図られるよう取り組みます。

情報提供が中心の取組みとなりましたが、「ねんきん月間に関する取組みの資料」や「ねんきんネット普及促進」「年金手続きにかかる押印省略の取扱い」について、全委員へ郵送し、機構が取り組む事業の周知と事業への協力要請を行うことが出来ました。

・文書勧奨を中心に委嘱拡大を図ってきましたが、令和2年度末現在、県内の職域型年金委員総数は、前年度末委員数から44名減少しています。

社会保険適用事業所数に対する職域型年金委員数の割合(委嘱率)は、令和元年度末9.23%に対し、令和2年度末8.92%と減少しております。引き続き、事業主に対し全国健康保険協会山形支部と共同で文書勧奨を実施していくとともに、関係団体の会報等への掲載を依頼しながら委嘱拡大を進めていきます。なお、健康保険委員のみ設置の事業所に対しても同様に取り組んでいきます。

また、地域型年金委員数につきましては、9名増加していますが、更新を希望されない高齢者の方が多いこともあり、新たな委嘱拡大が引き続き重要課題となります。委嘱要請を行った、山形県社会保険協会や山形県年金協会連合会を始め、山形県社会保険労務士会等、関係団体からの委嘱拡大を取組みます。また、委員活動を支援するため、ご意見やご要望をお聞きする機会である、連絡会や研修会の充実を図っていきます。

5 「ねんきん月間」・「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して11月を「ねんきん月間」、11月30日(いいみらい)を「年金の日」と位置付け、県民の皆様に年金制度を理解していただけるよう、積極的に公的年金制度の周知や啓発活動を行いました。

事務所	取組結果	
山形県内年金事務所 共通事業	令和2年度 年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式	ねんきん月間
	第12回山形県年金ポスターコンクール表彰式	
	市町村・年金委員に対し「ねんきん月間」ポスター、チラシ、「ねんきんネット」リーフレットの配布	ねんきん月間
	全国年金委員研修会	ねんきん月間
	令和2年度「山形県社会保険協会 社会保険事務講習会」	通常事業
	ハローワークにおける離職者を対象とした説明会	
	高校・大学等への年金セミナーアプローチ及び年金セミナー実施	
米沢年金事務所 新庄年金事務所	出張年金相談	通常事業
山形年金事務所	山形県退職者公務員連盟山形支部研修会	ねんきん月間

6 「わたしと年金」エッセイ

国民の皆様に年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関(団体)にポスターやリーフレットの設置のご協力をいただいたほか、年金セミナーの実施とあわせて依頼しました。

【募集期間】 令和2年6月1日～令和2年9月11日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞ほか

【応募状況】 応募総数942件のうち、山形県の応募件数1件



「わたしと年金」エッセイポスター

7 第12回山形県年金ポスターコンクール

東北厚生局をはじめ、山形県社会保険協会等7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象として、年金制度に親しんでいただくため、年金をテーマとしたポスターを作成していただきました。

【募集期間】 令和2年6月12日～令和2年9月18日

【賞】 最優秀賞1点、優秀賞5点、入選5点

東北厚生局長賞1点、山形県社会保険協会会長賞1点

【応募状況】 応募校11校、総数34件(昨年度16校、56件)

入賞者には、各年金事務所で中学校を訪問し表彰を行いました。



中学校での表彰式の様子

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

8 山形県地域年金事業運営調整会議

令和2年度 第16回会議(書面開催)にかかる主なご意見と対応状況

事業種類	ご意見	対応状況
地域連携事業	【年金制度説明会の開催及び研修会等への講師派遣状況】及び【市町村担当者との打合せ等状況】 ・数値を至上視するつもりはありませんが、(1)年金制度説明会・研修会の参加者数(2)市町村担当者との打合せ出席者数の減少が目につきます。 平成30年度がよすぎたのか、それとも別に理由があるのかコメントがほしいところです。 【自治体・関係機関(団体)等への取組】 ・「世代と世代の支え合い」を基本とする公的年金制度において、制度に対する県民の正しい理解を深めることは非常に重要であると考えられています。社会保険協会は、法人設立以来、社会保険制度の普及と当該事業の円滑な運営に資することを目的に各種事業に取り組んでまいりました。 ・令和3年度におきましても、新型コロナの感染対策を行い、出席者の安全確保を図ったうえで、企業の社会保険事務担当者を対象にした「講習会」や、年金の請求手続きを間近に控えた方を対象にした「説明会」を県内各地において計画しております。開催にあたり講師の派遣等につきまして、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。	・平成30年度比、回数で12回減、参加者数で75名減となっておりますが、特に、市町村担当者との打合せ回数が減っているのではなく、予約制や制度改正の周知依頼の件数が減ったことによるものです。参加者数については、県全体研修会の開催回数減に伴い参加者が減ったものです。 ・今後とも引き続きよろしくお願いします。

事業種類	ご意見	対応状況
年金セミナー事業	【教育機関別の年金セミナー実施状況】 ・次世代の主役となる若年層への年金セミナーの開催が重要ですが、山形事務所管内の高等学校対象校数が一番多いにもかかわらず、実施校実績が少ないので改善策が必要です。 ・年金ポスターコンクールで中学校での実施を是非お願いしたい。 ・主権者の充実・強化の柱として高等学校等と協力して、年金制度等の仕組みを理解させる取組みをすすめて下さい。 【年金セミナー及び制度説明会】 ・年金セミナー用動画(DVD)の配布を取り組むようですが、どのような内容でどの様に活用するのでしょうか。 【年金セミナー事業の展開】 ・公的年金制度について、若いうちから興味・関心を持ってもらうために、年金セミナーの中学校での実施については、今後も継続して勧奨してもらいたいと思います。	・ご指摘のとおり、県内平均42.6%の実施率に対して、山形年金事務所実施率は24.4%となっております。原因を追求し対策を講じます。 ・年金ポスターコンクールに積極的な中学校を対象にアプローチから実施します。 ・学習指導要領切り替え、令和4年度から始まる主権者教育(公民)を念頭に置き、取組みを進めて参ります。 ・学校に提供し、授業の中で、動画により年金制度の学習をしていただくものです。アンケートの記入もご協力をいただいております。内容は、「パンフレット:知っておきたい年金のはなし」をもとに、「公的年金制度とは」や「20歳になったら」等について、わかりやすく解説したものです。 ・継続し勧奨していきます。3年度は、県内中学校に対し、勧奨文書の送付を計画しています。

事業種類	ご意見	対応状況
地域年金事業 運営調整会議	【会議・研修等】 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、会議や研修会はオンラインでの実施が有効な方法の1つとなっている。委員や参加者のオンラインの環境の把握も含め、今後の会議や研修のあり方について今後も検討していただければと思います。	・現在、オンラインでセミナーを実施できる環境は構築中ですが、外部組織との会議・研修会を実施できる環境とはなっていません。ご意見・ご要望の主旨は理解できますので、上部へ伝えて参ります。
ねんきんネットの 利用促進	【年金セミナー事業の取組結果】 ・「ねんきんネット」の利用状況として、どのくらい利用されているのでしょうか。	・2018年2月現在、ねんきんネットID取得者数は、500万人を超えております。引き続き、利用促進を図るため、ポスター掲示等を周知して参ります。

事業種類	ご意見	対応状況
その他(全体)	【事業運営全体】 ・コロナ禍のなか、たいへんご苦労様です。非対面のビジネスモデルへの転換を積極的におすすめてください。 ・新型コロナウイルス感染症の防止対策をとりながらの取組みにつきまして大変お疲れ様です。いろいろな制限が有る中ですが、より一層年金制度周知、啓発が図れますよう取組みを期待しております。 ・コロナ禍において、当面大変な状況が続くと思われますが、計画に基づき、各種事業にしっかり取り組んでいただくことを期待します。	・ご意見ありがとうございます。今後も、本部基本方針に基づき取り組んで参ります。 ・ご意見ありがとうございます。今後も、本部基本方針に基づき取り組んで参ります。 ・ご意見ありがとうございます。今後も、本部基本方針に基づき取り組んで参ります。

9 ねんきんネットの利用促進

「ねんきんネット」は、年金記録の確認、将来の年金見込額の試算、電子版「ねんきん定期便」の閲覧、各種通知書の確認や再交付申請に対応しており、年々機能も充実しています。また、24時間利用可能となっています。

年金事務所では、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、ポスター掲示やチラシの設置・配布を行い多くの方々に利用していただけるようご案内しています。

利用するためには、「ねんきんネットID」が必要となりますが、アクセスキーがあれば、速やかに「ねんきんネットID」を取得することができます。

手続きの利便性を高めるため、年金事務所では利用を希望されたお客様にはアクセスキーを即日発行しています。